

山子

桂
花
集

全

Handwritten notes in cursive script, likely a library or collector's mark.

194

四谷庵竹杖月良撰

狂歌桂花生集

葵岡北溪畫圖

々

々

々

々

々

々

々

々

々

々

々

々

々

々

々

ひのー井出の於露るの世のこやまかろーおぬらわ
井出の玉川小山振おほく字意と承るて我ら
まのあゆみ終ひ境中絶えぬ世々々々 まうらる
ハ加茂河の流るるふかぬしとあつたりりるよと
かゝるは名もたけりきむのー又藤系実証
のーさかふ世どののうらぐと東山の進者と鳴き
茶葉成る家と西洞院とあるとてうまゆ
まをたき入るりとそ入ぬの府金と鳴き
しとほるとさうとて鳴きとさうとて
うらぐよると鳴きとさうとて鳴きとさうとて

よきとせしむるは
新裳

前揚名判者松園源因雄

Faint, illegible text in a cursive style, possibly bleed-through or a second draft.

舟の舟よなまゝのあゝめ
よのよとくねて春乃存也
のうらやなふくふくとし
まゝ其へあれたえか
うらやなふくふくのうら
ふのうらふくふくのうら
うらやなふくふくのうら
うらやなふくふくのうら

あゝのつねなるのあゝのつねなる
 くのつねなるのあゝのつねなる
 くのつねなるのあゝのつねなる
 くのつねなるのあゝのつねなる
 くのつねなるのあゝのつねなる

神楽の園

湖野野

桂花集

春月

四言庵撰

十二
 雲々々々々 若くはつぐまきり山々々々々 小夜をるるの表の月 湖舟亭元女
 西へつぐまの町へつぐまも 岸をるる若くおねる若の月 松風隠長丸
 づらづらづら 花の影に大なる月を望むといふなまきり 遊々舎春野
 海棠の花ゆいおとす 風かきやまふねつる若の夜の月 雲窓庵文丸
 結ぶもよ影ゆく月や 陽い久ん縁のほろぬるむまの夜 南窓悦山
 若の夜の浦に 若くはつぐまきり 若の夜の月の桂も け枝十千 千 桺 亭
 眠る花物えぬ若きく 以ハ月もくすの底よ 志のしぬ 盡 吾 樓
 海苔麻糸も けくくくくくく 十六夜は 白くくくくくく 信ハ 福 禄 亭
 咲るの山のたかき 夕月ハ 若くはつぐまきり 若くはつぐまきり 魚 代 人
 中へに 若くはつぐまきり 若の月を 若くはつぐまきり 若くはつぐまきり 青葉亭千枝



あーののの苦勞ア

月も光るや

カキはさあかん

十三矣

サオ入事兼守

を早へ候て

梅と又ゆか

花をまきこる

於ろろ

夜の月



十五矣

さくまきハ 在岸 千持

物ウハ

月の

うろたも

うろたきうれ

よま乃を系

十五矣

未度假名女

焼きにくう

やれよ

うけまき

去一志の

於ろろ

夜の月

十五矣

十山秋彦忠新

夜もまきこる花の

十八頁

坂ノの浦

雲の字

十三頁
竜廼屋

新きとる
月の影も
スー
うりたり

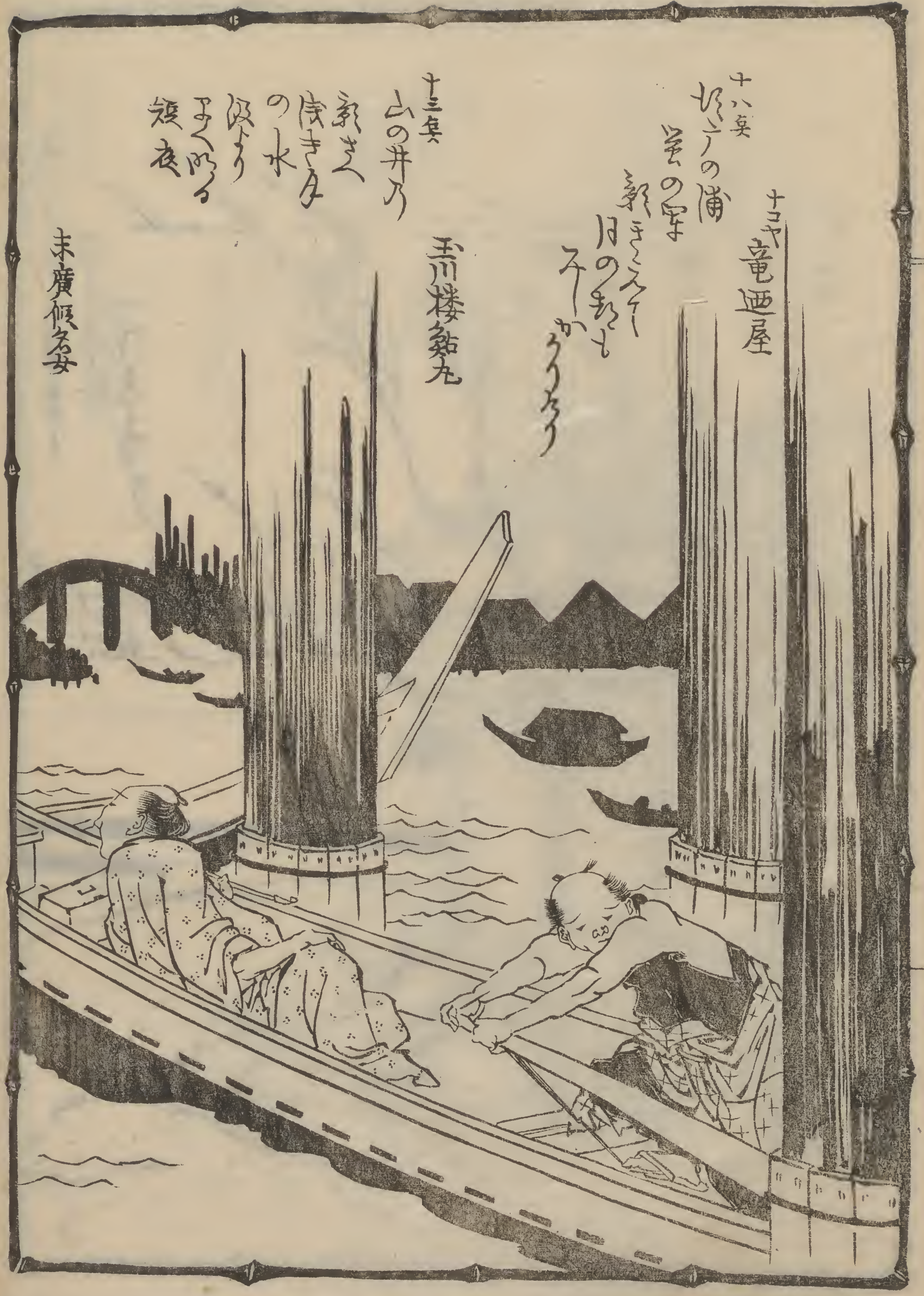
十三頁

山の井乃

玉川楼菊丸

新き
候き
の水
汲より
子へ
短夜

未廣假名女



十三頁

水のる

うけも新波は乃
あつりの
うりたり

千芳

十三頁

めいりくのま

小夜衣
きや
月乃

常徳居高入

十三頁

新波

の
月
夕



仙
柳 千條

十五
云の紫乃

云マひろ

さんいせ

の体

法衣

月と

ころる夜ハ

川コエ

福屋園者セ

十五
姝は例の國乃

室ア雪花の

とくめの内乃

月の
清凌



川コエ
清香令

梅子

十三
ハまきまてて家の月

形アまきまてて家の月

あるまきまてて

十三
玉川楼新丸

菊系や伏を月

姝の扱ハちりや拂

そききのま

十三
おまき子まき

んかきとくまき

つとハまき月

出
の家

十三
長忍亭基頼

月うけのふと惜う

足下マキ

まきの浦松



桃太樓

地... 月...
...
...

湖清園

昔... 月...
...
...

花咲菴

花... 月...
...
...

全

松... 山...

す... 月...

繁亭未長

す... 月...



圓月樓仲秋

放... 月...
...
...

陽居亭陽

あ... 月...
...
...

静窓桂

か... 月...
...
...

青山亭常吉

あ... 月...
...
...

前場名判者

あ... 月...
...
...

五車亭

川... 水... 月...



横遊閣仲貫

十三、
傍りかゝりかたき
ふもろき人の
すゝみあし
しる茶の月の

紀長左

十八、
きつね山
後りてけ
ん根の
すゝみ原まの
月の
か女子

玉光舎右正

十三、
やの夜の月の
おのすゝみ
波のゆもろ
きのぬね

雑

釣月亭浪寄

十三、
はるあゝり月の
け言のき短氣や月泣てかろ人

湖壽園

十三、
おゝ表のぬすろき
砥ち山
すゝみの月

梅明

十三、
ぬすの
さゝり
う甲の夜
月のおを
うめ



小湫峯

秋の夜のあつ〜新よ〜うれはすま〜よき無月々

井の甲さ〜山吹のあ〜ま〜れ〜ちきあ〜るよの月

又〜あ〜ち〜るを〜う〜うさ〜不嫁の産よ〜つ〜むち〜るのよの月

さ〜り〜ま〜る〜さ〜の夜〜す〜〜い〜松のね〜よ〜れ〜るあ〜ら〜るよの月

け〜た〜の〜〜返〜て〜い〜さ〜ら〜や〜さ〜ら〜わ〜い〜〜さ〜ひ〜るま〜のよの月

す〜〜川柳さ〜〜う〜ねのま〜も〜う〜る今〜アのあ〜ら〜るよの月

一〜す〜ち〜の産〜を〜使〜〜〜う〜も〜水〜也〜〜も〜ま〜き〜月の子〜う〜つき

そ〜の〜ま〜柳のさ〜〜ア〜ま〜お〜ひ〜無〜〜ま〜し〜ま〜のよの月

笠〜り〜〜月も〜を〜は〜の坊〜〜〜さ〜る〜〜のち〜花〜早〜う〜ち

牛〜の〜新〜う〜つ〜陸〜よ〜も〜存〜畢〜よ〜ち〜〜〜あ〜ら〜る月

さ〜〜〜本も〜今〜い〜ま〜う〜〜そ〜の〜〜ち〜月さ〜〜入〜ま〜う〜つ〜る無夜

ま〜の〜夜〜の月〜の〜う〜〜の〜ま〜う〜〜い〜む〜す〜い〜う〜わ〜ん〜ま〜柳の髪

湖城軒有安

乱橋亭高浪

富廼屋員守

福月窓内安

福得奔保有利

東海庵福成

松濤奔調意

濤鳴庵澤利

竹の門千代蔭

竹林亭七賢

竹盛園秋良

竹鶯園哥良

山娘のワ〜る〜い〜き〜や〜か〜〜〜ん月の後〜う〜つ〜り〜る〜ら

花〜ん〜〜い〜〜〜う〜〜〜ま〜よ〜の〜ま〜あ〜〜い〜ま〜ら〜り〜ひ〜ま〜陽〜む月氣

き〜山〜の〜産〜の〜衣〜よ〜白〜つ〜る〜花〜の上〜ゆ〜く〜月〜も〜あ〜り〜る

は〜の〜産〜の〜衣〜よ〜月〜の〜あ〜〜ら〜れ〜て〜け〜む〜ま〜つ〜本〜の〜え

水〜の上〜よ〜ら〜り〜〜新〜ハ〜仙人の〜歎〜か〜〜の〜ま〜ん〜〜の〜月

更〜科〜々〜田〜毎〜の〜月〜は〜苗〜代〜の〜ま〜ど〜り〜か〜の〜狩〜お〜り〜〜り

咲〜つ〜〜〜峰の〜様〜の〜ま〜ま〜ま〜ハ〜お〜ら〜ら〜ふ〜又〜ゆ〜り〜ま〜の〜よ〜の〜月

さ〜〜ふ〜の〜ま〜ま〜ま〜し〜〜と〜ま〜の〜よ〜の〜月〜ア〜産〜の〜袖〜あ〜ら〜ん

梅〜あ〜の〜ゆ〜〜〜雨の〜〜れ〜て〜後〜ア〜産〜ま〜て〜る〜れ〜ま〜の〜よ〜の〜月

そ〜〜ら〜ら〜〜と〜〜〜〜ぬ〜産の〜産〜マ〜ド〜写〜〜信〜〜多〜の〜ま〜の〜よ〜の〜月

又〜て〜夫〜と〜ち〜る〜を〜い〜〜う〜さ〜不〜婚の〜産〜〜つ〜〜む〜ま〜ら〜の〜よ〜の〜月

ま〜の〜夜〜の〜陽〜ら〜る〜氣〜ハ〜月〜の〜オ〜の〜桂〜ア〜ま〜か〜ま〜と〜〜〜ん

いん太田

千代廼屋春雄

永嶋春風

柳月窓細女

玉座亭守文

五老峰隠相

静窓 桂

鈴木茂時

蘿廼門玉女

春日亭里位

春仙堂柴船

富廼屋員守

槍生薫正美

よりの山月の影も花の香にまじりやーわんじうむまの夜

湖綾園糸守

むさしー世ふくふはをアたそめ竹のり申し燈ふ月もこころい

篠園春根

まの夜の月も影の深し角力りまのさそ中にいそましくき

蟬菴泥住

咲ふも砂るんうまのあふまもまうや月うううう男

濤聲園小松

ふし細も影のえの掬れうと神う傳ふまのよの月

山隣亭秋樹

まの月も影て三輪の山の塔と月もおろろ出るまの夜

葎庵千峯

むさしー世ののあううかハ霞つて月のまもまは途々

壺丈樓一岱

り丁の文つーー人世よのかすこにこもる山の日

浅調庵真似保

山の塔くかー影のえにまもていつ月ううう男

葎川舎壽住

まわれいもまき影むまの夜のもよううう山の日

車音亭大井

依係ねーまのひらう入やうまの影よまの日のうう男

無事庵逸翁

まのちうーけてやまーはれん陽りかうまの月のうを

饅頭庵腰高

まの月かすこのえよこりーかあ山とて眠るやーちう

三壺亭長茂

むさしー世のゆーれいろうう影のえうくれのまの夜の月

春風柳子

美州のり申し斗アうまの枝の煙かすむまの夜の日

南木亭千榮多

水色の月のまろふまの夜ハ柿の尻もぶうとまき

草木亭茂女

まの山の山かー影の長そーとまふくれていつる月うけ

勘定外也

まの月の影もまろふまの夜ハ海うまの波の鼓もチうう月

湖月堂清光

婁之日

夕すみいーんもまきまや月のうううの花のちうち小

永嶋春風

ねんふくーもまきまいつのろうすーま月と吹上の霞

洋々亭水元

枝まきまの木のすーま小秋りやうと取く月うけ

呼月樓三宣

まの山のまろふまの影も陽りにまきま夜

青山亭常吉

まの峰まーまろふまの影も陽りにまきま夜

月下亭

そーわーて 汎すり 夜月 影のふき 夕ア 涼も 柳 絃亭 唐琴

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 青 我窓 月義

たーや 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 湖 邊亭 花守

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 湖 州 園

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 黄 白舎 為持

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 綴 盤 亭

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 芳 入亭 菊守

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 小 餘綾 磯女

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 集 替庵 行窓

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 冬 丸園 逸成

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 雄 月堂 連整

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 竹 馬友 業

汎すり 夜月 影のふき 夕ア 涼も 湖 漣堂 敷音

夕つくさ 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 湖 萍亭 重雄

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 秋 海亭 歌多守

比の面 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 友 垣 芳見

勝乃田 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 杖 廻 行方

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 真 琴

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 蓬 萊 龜成

そーわき 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 春 駒

照月の 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 以 呂波 道人

泳かる人 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 哥 月堂 櫻籬

ひるの 夕涼 影のふき 夕ア 涼も 壺 井亭 元澄

夏の夜の月の光も枯れて夕べの光もあつた夏の夜

アシカ

茅街園守氏

夕立のそらなる鈴ふせの袖もあつて出た月の光も

タテ林

東屋白都

きつて夏の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

アシカ

三丈亭糸浦

くつて夏の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

壽月亭福晴

きつて夏の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

元女

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

一調子高樹

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

竹春居茂葉

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

草菰園糸白

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

萬代舎廣住

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

湖面堂成兼

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

青葉草琴葉

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

六合菴元一

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

自樂山人

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

百敷庵哥橋

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

青柳園千種

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

福柱園布衣

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

便露堂菊人

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

窓史丸

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

蝶形亭黒金

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

馬麻人

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

腰高

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

湖州園

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

鵲巢居光榮

五月の夜の光もあつて夕べの光もあつた夏の夜

長沢庵廣丸

○ 水堂の葉落しもささやきの夜は月の光をひさくまきりさ 川コエ 橘香亭守雄

月の香うらやかと月影の光をひさくまきりさ 松代 松操亭美奈女

まの夜の風を待てる月の丹陰の光をひさくまきりさ 無事庵逸翁

夏山に雲を待てる下はくもれはねのうらに弓張の月 柴田舎秋芳

秋之月

^{ナニ} 夕顔亭元成

月のりる壁の中かききりくす母の光をひさくまきりさ 湖清園

山依いと方の月マモちん世のちりまもちんマヤ々々 カシ 神垣守吉

その神もむいといくかきりくもささき月のうらをたの峯 湖水亭清泉

まささしり妹もヤチのまささき月のうらをたの峯 湖橋園至宝

松崎のねもよき世の橋本も秋はくらの月のうらを 文金舎藏住

夜もまきり月をうらいて君代はゆきをささき 松梅亭商人

ささき月の香うらやかと月影の光をひさくまきりさ 鶯蛙園哥雄

くすき月の香うらやかと月影の光をひさくまきりさ イハト 文毫舎魚丸

ささき月の香うらやかと月影の光をひさくまきりさ イセツ 神風園

山形をかききり花もねたかた月よりのわさささ 全 森生亭万津雄

月うらの香うらやかと月影の光をひさくまきりさ ダシバタ 鏡磨安

地かく雲をひさくまきり海原の光をひさくまきりさ 川コエ 千池堂雀住

ささき月の香うらやかと月影の光をひさくまきりさ 甲ミノウ 南院樓哥成

年うらやかと月影の光をひさくまきりさ 竹菰館鹿業

と帰の山に月影の光をひさくまきりさ 湖川樓堰

山に月影の光をひさくまきりさ 三 宜

秋の夜を待てる妹は紅の赤き月の光をひさくまきりさ 薄雪堂春道

かつと木はささき月影の光をひさくまきりさ 川コエ 福巢園雀守

丁ろひの持たすきやてる月よきの衣はうけすもあつたん
むきー舟をまへーくく秋をき月又のむをまねくほきき
あり山出陽のぬいぬの夜いー葉はる月もにききー人
さる山はせりー人葉さく月少女のきえ登る又も
新ふきてーくハハの桂すく月よいて折入うと入申
照月の桂の糸のぬあーせハ山里外のももとさうさー
放せと云月のまもいー斗りうよわとけつるきーん
月の中におーーサハ遊る人つーくの葉さうさー
又了志とさーもまもぬ前かえのぬ物し成持の月
之保の浦ねいーもつれ久方のまの衣よ月よかろま
又了志とさーもさー月よまきせの舞さく白くうるさやけ
まはさく成我世の風のまもまーもろくも月の新ハさる

陽居亭陽
福輪亭津葉成
安南樓園住
玉絲堂蟻道
千里亭早道
森榮亭富丸
六催園絲屑
早道
風月萃友俊
東樹園玉世
釣好
湖濤園

カサマツ

月のくさハ遊ーもろくもあつたん
さる月の桂ひくあよけあさるてーまにきるねーぬのね
さるーもね葉のさーもさーもさる月さるおたとーりか女子
いさこよりさる月のまもぬの鳥丸さるぬ物さる月月の表
さるもさる月さる痛まーく清もさえぬ世のまもさる
さるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるも
むーもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるも
おさるハ柳の葉ハさるもさるもさるもさるもさるもさるも
秋の舟の尾まのほよねさるもさるもさるもさるもさるも
さるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるも
月のよにさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるも
さるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるもさるも

福壽窓真倉
折芳園一枝
磯女
加茂船
元成
湖靜園浪吉
一心子方樹
五老峯隱栖
竹流軒清良
茂葉
采迺屋弓彦
采汁樓外守

その世もいづれいつか秋の夜も月のあそびも
よそよりの新しき下けの後人形玉子りくらのまの夜の月
ふる人もそそり秋の月影もほろく山はあらしむきし
るれはるるそと信とに月影をひけて二入る浦のまふんき
さうりそそり入月の新しきそとくさしりわでの煙火
み代士の粹よらとまきてんすしりそとてまき水の上の月
山の影も出しやとまきて月影にひかりかふるまよとてさう
まふそそりいれす一夜に詠う人も方の月よ月よりの里
さうりそそりまきていつかそとく月のおのそとて
さうりそそりまきていつかそとく月のおのそとて
西とまふ入雲のほろく牛のまをまはらふしそと秋のよ月
いふくの新八月よ月よりのまふそとて秋の夜

湖色亭添成

巴 扇 堂

楠庭子近國

三栗 仲 女

丹三樓綾織

浅 陽 庵

雪風流里

百叶園道俊

檜原亭村人

尋 蹤 亭

獨樂亭無盃

清栄舎松守

松しそ横よちりくそまねねの枝をそと月のおろ夜
むしそこの波肌もななくそまきて月のおろいつかそと
妹の夜の月の後のそと 掬根はたも明るそとゆきやそと
花もそとおとそとにそとて神より神くそと月くは
さうりそそり月よりのわけて小鳥を鳴やもそとまらうそとま
ちりそとそと鳴もあしれ妹を方月のそとのまの角の枝
又てそとそとて入月よ作向ハ新し波のそとよりまら
妹を方そとそとそとそとねるそと新さる月のおの下の木
ワハまら秋のそとそとそとそとすのそとすき月のそとまけさ
んちや月の笑顔そとそとそと山そとそとの村まのそと
さうりそとそとそとそとそとそとそとそとそとそとそとそと
竹のまらそとそとのそとそとそとそとそとそとそとそとそと

新樹園葉守

六 花 園

湖川樓 堰

猿遊閣仲貫

南盛子春岑

黄鳥庵梅好

百中庵起人

通訛亭歌樂

芦邊庵田鶴

采花溪垣守

福翠樓枝茂

青峩葦照影

ひらりたる月の光をいづつともくワケいそぐ萩の上の夜 月 照

むしきの社より新のり八出で袂のしらの月のさやけき 三千世庵桃如壽

浦島へ箱のうら表とちき表まはらけきあつるや夕月の新 湖樂亭釣好

照月とまきと踊る秋の表ハ早もあつれのこころちこそまん 龍杖園梅保

祭の表とようさうりマハも夕のけうまもほろ新とまきや 藤 花 子

さやけきと接も終まれり月と如藤の枝とまきとま 賤廼屋千門

うそ吹く風と夕方のまき拂へ月とまきとけの一油の虎 科廼屋真猿

伝吉のねとちうそハかろひて月の新さくちまきのうとまき 志賀廼屋井緑

秋と夕月のあつれや夕のうらまをみおよハさななり 扇松垣千風

釣むし人の神もつる月のあつれや夕のうらまのあつれく 柳榮子系長

照月の桂のえとつるのえいふて早のまきもまきとまきとま 松壽軒 翠

つる月の桂のまのさうりハかろひてやうと新峯のえとまき 柳谷亭千年

つる月とあつれぬ新のうらまの春はひくともかかれとおよハて山 不震亭山近

夜夢のぬもつねの枝まもまきとまきとまきとまきとまきとま 湖木亭枝吉

秋と夕方のまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとま 湖渡庵道吉

月と夕の月とまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとま 南窓悦山

むきりの尾花ハ不二の旗掲松令まきとまきとまきとまきとま 雪車 早雄

咲つくまきまきと風と吹く夕の早まきとまきとまきとまきとま 竹流軒清良

月新はまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとま 松廼屋千代住

妹の夜の月とまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとま 竹枝堂真垣

夕の夜の月とまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとま 豊廼屋綿芳

秋田のまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとまきとま 秋浪菴淳安

そくかてほりぬわと秋と夕の月新とまきとまきとまきとまきとま 六律菴琴雄

保氏実さくつる秋の月新とまきとまきとまきとまきとまきとま 一陽亭春見

人のまゝおたふさしと照月の桂つこむ霞川のつね

川サキ

壺宴樓花豊

白きはいつうさて燈の夜の月のうららのまえひとむれ

菅廼屋沼成

水んあゝ月の夜はいつく長くあゝあゝあゝあゝ

タニヤシ

三栗園守仲

爪のゆきまの夜の神のこころはひさき月のちの夜

越後守

百行亭治丸

室てし玉をささぐりてらりてそのはるまじり月新

タテヤシ

守 高

西へ入るる夕やいろそめん燈を方影の月のこころをて大詠

川コエ

福景園濱村

甚の名のほろアマリ一の海をこぼるるうらなとて月新

逸 翁

こゝろの母まをえれぬ照月のあゝあゝあゝあゝ

幸亭喜樽

よりの山口のこころをささぐりてそのはるまじり月新

梅樹園花芳

提灯のろうも代りてあゝあゝあゝあゝあゝ

太昂坊壽老丸

むしきのそれて月あゝあゝあゝあゝあゝ

稻毛庵真猿

うく風を尾花のほろアマリ一の海をこぼるるうらなとて月新

栗舟亭藤蔓

海をこぼるる月あゝあゝあゝあゝあゝ

湖亀園甲良

そこはき燈は燈にの月あゝあゝあゝあゝあゝ

オク

花 基 頼

我神やちとえれぬむき一の尾花を中よいて

ナコヤ

秀 畧

是本とい甲ういささかてあゝあゝあゝあゝあゝ

對松園堅持

はちあゝ一傳付いりま帆行帆はとて

ねレロ

金錠樓細丸

よりの川も月の新きまをのうらなとて

クハナ

六絃園男依

文りて燈より月のこころをささぐりて

豊榮子稻吉

ぬら子と月の前ハ目あててとて

秋月亭兔住

むしきのまをささぐりて秋を方あゝあゝあゝあゝ

三又改

大橋亭滿復

たのかいよさて月あゝあゝあゝあゝあゝ

唐金義法師

さえりて月のうらなとて秋の夜も丁の文をて

敷嶋庵歌和

そのいささけりきりきり月のきりきりいささけりきりきり
 手琴常曲
 手もくく月まら月の中かよいききたのふよばくそおろそや
 ヨリ井 亀鶴亭長喜
 ゆくゆくねる二のくくくい照月の桂のささのさくくくく
 全 生物亭安喜
 てくくくく月のまら月まらくくくくくくくくくくくく
 夕上 花月茶馬麻人
 ちくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 上林亭直喜
 次への備まむ月をけと返さくくくくくくくくくくく
 カサマツ 隅田通屋都鳥
 去の夕もさくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 大木戸駒彦
 まくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 カサマツ 桃 太 樓
 思くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 新田房記
 幸傍のねのくくくくくくくくくくくくくくくくく
 文清舎沖澄
 りもくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 白 山 人
 おくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 梅 好

むきりの月のゆくゆくゆくくくくくくくくくくくく
 サノ 三五亭相住
 入くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 千尋濱住
 ぬくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 沖 澄
 くるくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 吾不軒菊成
 沖風やいでるほゆいさくくくくくくくくくくく
 甲ノシラフ 鶯宿亭梅葉
 年くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 史 九
 只川の山のあくくくくくくくくくくくくくくく
 車音亭大井
 秋くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 越中シタ 寶 簾 笠
 すすくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 イセフ 萩廻至音信
 ね凡のきくくくくくくくくくくくくくくくくく
 ナコヤ 竜弓園弘的
 さくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 相生 楠葉子濱風
 桂くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 下サ 淺 波 庵

ちりぎと尻のふつと掃ききり方の月の入つてらん
 下サ 東 扶 桑
 可然亭安臣 仙
 錦深亭漆樹 全
 米園泰御 左ハラ
 袖農屋綾雄 川サキ
 稻菴園秀雄
 春藤子一與
 和竹亭素直
 自在庵如蝶
 和月堂影吉
 巳 扇 堂
 青樓園多長

地々 舞もらきれてる 月のうけも子孫の庭もさうなり
 喜 久 丸
 きぬき 寺妹の下子々 詠れいひく 夕々き月のそりる
 中野庵来龜
 新 初月 月の小笠 旅人の月まろー かくて丁の一むれ
 髭 面 入 道
 凡ののり 尾糸のあのみすれ 積もてつくる 月の丸 窓 手、尻
 派 住
 ふ二うねも 籠はの山も おもき ね月も 老きむき 一の系 ホアツキ
 風柳亭吉女
 むれきとく 夕々き月の新さく 法のいさこむとらきむく
 至 宝
 叔吉の札 雨のすれ 詠れハサキ 妻のいー山の 月
 湖山亭石持
 新よりもん 夕々き月 又んさの 庭のや月のま 白さ
 湖郷亭内住
 和 吹 川 秋の 夕々き月 又んさの 庭のや月のま 白さ
 舞 守
 て 夕々き 月の中の 夕々き 月のま 白さ
 千霞亭宝山
 夕々き 月の中の 夕々き 月のま 白さ
 勝雲亭露持
 夕々き 月の中の 夕々き 月のま 白さ
 鶯 儼 居 高 人

秋々芳照る月の方のよふ楓のうけやきのつらー ヲカ 真 琴

此因のまをて取てまもるふもつらと月の良いま サシ 一松子若樹

手のかまらうてつら月々けハマテうらた方のふと社又ハ ミ太田 桂琳堂月丸

かく年月のたれ恙の中えくまらけーまの衣いさー ミ太田 鳥跡堂文字雄

りのふらうらうハ懐の神垣をよまうてつら月のかさ ミ太田 勘定外也

冬之月

新白く月きまてく考すまてまらとわもふゆ冬の夜 川サキ 浅楽庵鳳管

冬のよの月のかたも我うけのまらとわもふゆ冬の夜 川サキ 竹雨軒志津香

そのの樹といまーにくしに若ワうらまらまの月うハ 川サキ 龍鱗舎松蔭

こころいもの候もあまうらうて夜ぬまー入月のうらうさ 川サキ 水 元

むらうらひ晴るるうらあひまきの山うらうらまの夜の月 川サキ 長忍亭基頼

侍々剛らうらに月の新きえてまらむらうらの冬のまのうら 川サキ 梅花亭香守

まけさる新やサセらん侍子も中央のいえさるまの月の 下モ小袋 題 人

此の考 舞うらにものつひてまらまらうら一たそのよの月 下モ小袋 菅廼屋沼威

こころいもの候もあまうらうて夜ぬまー入月のうらうさ 下モ小袋 湖祭亭八乙女

まらうらハ山うらうらまらうらうて夜ぬまー入月のうらうさ ミウラ 幽谷亭風篁

風うら小まらうらうの候もあまうらうて夜ぬまー入月のうらうさ 川サキ 四時園樂多

はらうらうらハかかれてそのよの月うらあもねうさうらうら 川サキ 壺婁樓花豊

仲柄天うら桶うらまらあけハ中にまらうらうて夜ぬまー入月のうらうさ モリ云 遊水樓川船

夜とまらうらまらあけハ中にまらうらうて夜ぬまー入月のうらうさ モリ云 常盤廻逸 茂

ひらけやうらまらあけハ中にまらうらうて夜ぬまー入月のうらうさ 泉云サカ 緑龜園長樹

市うらうら山ゆのまらうらうて夜ぬまー入月のうらうさ 山 龍玉園 亭

太のまらうら山まのまらうらうて夜ぬまー入月のうらうさ 山 月下坊音住

四方山のおうらうとかならむらハ木うけもあまらうて夜ぬまー入月のうらうさ 山 清樹園影枝

空めまきき〜〜のりぬふぬふ〜〜と坐山や〜〜ぬぬ〜〜ぬぬ月くけ ウレシウ 千 峯

次ナの〜〜月の〜〜の〜〜信〜〜ツツ〜〜入持丹 チノクエ 百敷雅樂守

丹〜〜き〜〜まはうれて〜〜もの〜〜て〜〜なる冬〜〜の月 チノクエ 清聲園小松

冬〜〜れて〜〜も月や〜〜ん廿のほき〜〜あむ〜〜せ 川コエ 文醉舎桃嶺

冬〜〜〜〜らき〜〜〜月のあ〜〜はアの浦〜〜も冬〜〜 川コエ 朝寐庵成竹

〜〜傍のね〜〜サぬ〜〜う〜〜ヤ〜〜傍〜〜〜〜冬〜〜の夜〜〜の月 川コエ 福長亭柏樹

十二集 イセツ 陸亭久世

丹飛の泊花ワケ〜〜と〜〜〜〜山也〜〜か〜〜のり月 イセツ 湖 濤 園

傍の小塘のほ〜〜け〜〜れて月の〜〜の〜〜と〜〜せ〜〜せ イセツ 雲水樓加茂船

〜〜を〜〜つ花持の白〜〜衣ハ芳を〜〜入神〜〜の月 信 牧モ 布川亭真常

〜〜月〜〜の〜〜〜〜マヤ〜〜紙の〜〜知〜〜る〜〜日〜〜の〜〜月 信 牧モ 雲迺屋竜女

〜〜申〜〜つ〜〜ま〜〜菟〜〜く〜〜れ〜〜や〜〜女子〜〜ら〜〜む〜〜〜〜〜日〜〜月〜〜の〜〜鎌 全

ね〜〜ぬの〜〜の〜〜の〜〜ねハ〜〜旅人〜〜も〜〜月の〜〜ぬ〜〜の〜〜り〜〜て〜〜ん マツト 茶碗鉢也

ね凡の〜〜の〜〜り〜〜と〜〜す〜〜朝〜〜ら〜〜と〜〜信〜〜一〜〜方〜〜の〜〜の〜〜り〜〜の〜〜月〜〜夜 ミウラ 便雅斎吉成

浅妻の〜〜の〜〜〜〜ら〜〜は〜〜新〜〜ヤ〜〜して〜〜よ〜〜と〜〜ま〜〜た〜〜め〜〜ぬ〜〜夕〜〜月の〜〜丹 ミウラ 弓 彦

〜〜う〜〜ねの〜〜持〜〜と〜〜も〜〜り〜〜れて〜〜その〜〜海〜〜月の〜〜ぬ〜〜ねの〜〜新〜〜と〜〜よ〜〜 ワシタ 松葉亭青記

〜〜き〜〜つ〜〜る〜〜月の〜〜ぬ〜〜ハ〜〜妹〜〜凡〜〜む〜〜〜ま〜〜中の〜〜ほ〜〜も〜〜い〜〜と〜〜り〜〜す ワシタ 壺翫樓 一 瓶

〜〜凡〜〜も〜〜〜〜と〜〜も〜〜た〜〜その〜〜海〜〜月の〜〜ぬ〜〜ねの〜〜り〜〜か〜〜い〜〜と〜〜い 信 及 真系庵房得

〜〜ら〜〜茶〜〜や〜〜つ〜〜る〜〜ほ〜〜け〜〜冊〜〜と〜〜つ〜〜中〜〜と〜〜く〜〜ま〜〜る〜〜之〜〜日〜〜月〜〜と〜〜ち〜〜ち〜〜掃〜〜形 武ヨリサ 岩藤舎長房

〜〜ら〜〜の〜〜山〜〜の〜〜い〜〜い〜〜と〜〜す〜〜新〜〜も〜〜や〜〜落〜〜う〜〜と〜〜と〜〜月〜〜の〜〜掃 武ヨリサ 郵 住

〜〜ら〜〜の〜〜山〜〜の〜〜い〜〜い〜〜と〜〜す〜〜新〜〜も〜〜や〜〜落〜〜う〜〜と〜〜と〜〜月〜〜の〜〜掃 武ヨリサ

〜〜ら〜〜の〜〜山〜〜の〜〜い〜〜い〜〜と〜〜す〜〜新〜〜も〜〜や〜〜落〜〜う〜〜と〜〜と〜〜月〜〜の〜〜掃 武ヨリサ

〜〜ら〜〜の〜〜山〜〜の〜〜い〜〜い〜〜と〜〜す〜〜新〜〜も〜〜や〜〜落〜〜う〜〜と〜〜と〜〜月〜〜の〜〜掃 武ヨリサ

月をみるるをくらくらあやうきと申すあやのあやあるあやまの山
六樹園
比のあけくらくれる新く梅ちりて花かきましるる去のよの月
塵外樓
早るとも思ふともいそねまかれや月のやとくらの山吹のあ
西末居

○
ふてあともちるるよ秋よくくつる去の月夜や四十くく
文々舎
磯系よとむす拾のくつりよ月のみまこあつれよ
白毛舎

○
角田川アミミ堀くさつれつてあや月よまきん
梅廻屋
月代もあつれつと神ねれと星のあつきをえらまの夜
立川馬

○
水アミミくつれる波をのりり舟月のまやらのちうき波川
宝市亭
○
やあつらつるよあやのとてけち月よあつれる秋の小夜風
卧竜園

○
不二うあよをつてあつれ月よあつれ申すよ月よあつれしあひなれ
おと備
まよかきくあつれ人のつらうすよまきん社をつつね一月のまよ
一田窓

○
新の入りさつてあつれつる人のあつれ山かきむきよの月
おし
ちりあつれあつれつる水屋よあつれつるのふの井の月
湖徳堂

○
我老を人よ申つるう休のいよとせりつるき月のうつら
湖月園

○
ひよさのむしつるまよの水とつる影をよ
初啼居の大人うあつれつるほきま
玉川をりつる極の四ッ谷居下町うけつるひよまよの水
花咲庵

友垣古文うしろの月をまらりて
しる短冊一ひしをえびぬれは幸うて
まよのすまきん

初代
四谷庵

友垣古文

あれこれと田毎の月をまらりて

一 夜まあらりて

諸君達の玉のさのまをまつて

臭あつてついでまらる長あふあ

四谷庵月良

うしろの月をまらりて
しる短冊一ひしをえびぬれは幸うて
まよのすまきん
友垣古文うしろの月をまらりて
しる短冊一ひしをえびぬれは幸うて
まよのすまきん

をくらくはくすきよはねてあーむきーあめの月の桂の
たまいにそよぐあの上をあらうれつや風ききき冬のゆく
ちの化粧よすこころやくみこころあけける月のころ玉の
ころの葉ころころまころ

ころ月のがせもころころひさし

あつころころやむききの神

桂花集跋

すはきのやつたまるゝ痕とひきはすたけり
たはるやふも玉あやきたけをふんを究
らふまし今母杖のぬいころたきころき
ころやひをふはまころころころ集め
玉を集めてあふふ月桂乃をふころ
あふころあふの遍照はあふる祚といふ
あふたきあふころあふのあふもあふ

持平の意を以て持平の志を以てしるる事余とさうかよとこえ終
すもよる物も亦の形は由り重さうといひて
すもよる物も亦の形は由り重さうといひて
きよなるもは下なるもふりひもきい筆下を
そしるる事余とさうかよとこえ終

湖濱園

桂之集自跋

本園は大人はよきひもをカホ一と
賢者出のしうれく系よあ世の大人うたを
かひて劉老みくはははく湖の鯉の形は
のほらあはもあまの舟の形よ射のお舞の形よ
甲もあまあま一カホの舞のたといひ一と
園のよまあま今を盛の時といひて田の谷

み戸ひらげつ警め玉のまにまゑ君
侍のあやかしむしびの干時文政十はあま
二やせとくし年又月西の軒も首を南めくは
たれ一名のほちえ元空四谷庵のほし

廿杖月良誌

